

# ～つながりを科学する～ ブローカレス理論と その活用事例について

## 「プラスワン！プロジェクト」関連勉強会

スタディーフライデーに習って、  
金曜午後新たな知見を広げてみませんか？

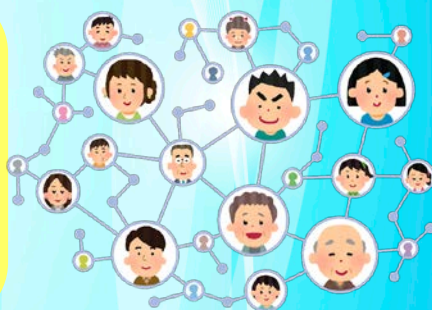
「あの人と知り合いだったから、話がスムーズに進んだ」という経験ありませんか？一方で、人との繋がりには偶然の産物という声も聞きます。本勉強会では、「つながること」を科学的に研究された理論とその具体的な取組をご紹介します。Skypeやブロックチェーン技術にも応用されている情報通信技術(\*)を応用して、ヒト・モノ・カネに限らず様々な地域資源を「つなげる」ことで新たな価値を産みだし、地域活性に活用する「地域コミュニティブランド（SCB）」の活動をされている、星合教授ご本人に講演して頂きます。

※1998年、星合教授により提唱された世界初のP2Pネットワーク理論である「ブローカレス理論」

### こんな方にオススメ！！

- ✓「つながること」や、「つながりを科学的に考えること」に興味がある方
- ✓「フラットでボトムアップ型」の組織づくり  
に興味がある方

など



日時： 9月6日（金） 18:30～20:00

会場：秘書課研修室（本館7階ドアNo.……）

参加方法：応募フォームより申込 〆切：9月3日（火）

### 星合 隆成 工学博士、崇城大学情報学部教授

早稲田大学招聘研究員。コンセプトラボ(株)取締役。一般社団法人ジョブラボぐんま監事。元NTT研究所主幹研究員・参与。NTT在職中に、ベルコミュニケーション研究所客員研究員。総務省ICタグと自律分散協調ネットワーク調査検討会委員、経済産業省次世代型新IT環境研究会委員、経済産業省「まちげんきフェス」スペシャリスト、総務省プロジェクトFed4IoT諮問委員会委員などを歴任。世界初のP2Pネットワークであるブローカレス理論・SIONetの提唱者として知られている。著書に『つながりを科学する 地域コミュニティブランド』（木楽舎、2018）『ブローカレスモデルとSIONet』（オーム社、2003）等がある。

問合せ先：政策統括官付 総務・経営安定対策参事官付 原田（2804）